

令和6年度 第1回 藤沢市立八松小学校 学校運営協議会議事録

開催日時 2024年5月23日（木）午前10時～12時

場 所 八松小学校 第2多目的室

|       |  |
|-------|--|
| 出席委員等 | <p>植木 菊治（会長／辻堂地区民生委員）<br/>                 瀧谷 典子（副会長／八松小学校校長）<br/>                 山本 あや（本校在籍児童保護者）<br/>                 吉田 秀樹（辻堂まちづくり会議 辻堂地区防災協議会）<br/>                 若林 理恵（藤沢市社会福祉協議会 コミュニティ・ソーシャルワーカー）<br/>                 綾部 由美子（明治青少年育成協議会指導員、元本校在籍児童保護者）<br/>                 小野 登紀子（明治地区民生委員児童委員）<br/>                 猿渡 智香子（辻堂二葉幼稚園園長）<br/>                 梶居 亮子（八松子どもクラブ クラブ長）<br/>                 小林 美幸（明治地区民生委員児童委員協議会主任児童委員）<br/>                 戸塚 渉（藤沢市生涯学習部 渉外学習総務課 明治公民館長）</p> <hr/> <p>出席委員：11名（欠席委員：2名）<br/>                 オブザーバー：教育総務課（吉田）（田中）</p> |
| 次第    | <p>1 開 会<br/>                 2 委嘱状等の交付<br/>                 3 自己紹介<br/>                 4 会長ならびに副会長の選出<br/>                 5 議 題<br/>                 （1）学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について<br/>                 （2）令和6年度八松小学校 概要について<br/>                 （3）令和6年度八松小学校 学校運営方針について<br/>                 （4）八松小学校の学校運営や子どもを取り巻く現状について<br/>                 （5）その他<br/>                 6 その他 今年度の会議日程（予定）<br/>                 7 閉 会</p>   |
| 協議内容  | <p>4.（1）学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）について<br/>                 ・副会長 学校運営協議会制度について説明を行った。協議会委員の皆様としっかりと信頼関係を築き、連携しながら本校やこの地域の特性を生かした協議会運営に努めてまいりたい。協議会委員の皆様には、学校だけでは解決できなかった課題を把握していただき、改善に向けて一緒に考え、行動していただきたい。<br/>                 ・委員 他校の学校運営協議会の活動について紹介があった。学校の課題を発信してもらい、委員が共有して考えていくことが大切だ。</p> <p>4.（2）令和6年度八松小学校 概要について<br/>                 ・副会長 5月1日現在、児童数722名、24クラス、教職員51名、介助員3名<br/>                 今年度は、創立65周年にあたる。今年度からコミュニティ・スクールになる。</p>   |

- ・委員 近年、教員不足が話題となっているが、八松小学校ではどうか。
  - ・副会長 4月は、5, 6年生の家庭科担当が欠員になっていたため、児童支援担当教諭が、5, 6年の家庭科を担当した。懸命に探す努力をして、5月から配置できた。現在は、欠員は無い。教員の心と体の調子や仕事が過重になってないかなど日頃から気にかけている。
- (3) 令和6年度八松小学校 学校運営方針について
- ・副会長 2024年度のグランドデザインの資料をもとに説明を行った。子どもたちが将来にわたって必要な力を八松小学校の教育活動で身につけられるようにすることが大事だと考えている。子どもたちが、能動的に学び、様々な人との関わりの中でよい人間関係を育て、成長していけるように、学年の全職員が、学年の全児童を育てる意識を持ち指導にあたる。異学年交流も積極的に行っていく。いじめの未然防止や組織的な対応をし、全ての児童が安心して楽しく過ごせる学校づくりに努めてまいりたい。
  - ・委員 承認
- (4) 八松小学校の学校運営や子どもを取り巻く現状について
- ・副会長 次のようなことが課題としてあげられる。
    - ① 児童の見守る人が必要。例えば、教室へ登校できない児童が登校する部屋の見守り、休み時間の下駄箱や校庭・校内の見守り、給食時間の準備や片付けの手伝い、下校時・放課後の児童館、公園等の見守りも必要だ。児童の道路の歩き方、遊び方、児童館の使い方、見守ってくださる方への態度について地域からご注意を受けることがたびたびある。家庭との連携も必要だ。
    - ② 教育活動への支援者も必要だ。例えば、理科・生活の畑の手伝い、水やり・雑草等、水の管理、ビオトープの管理、家庭科の針やミシンの学習の手伝い、調理実習の支援や安全の確認、個別に支援してほしい児童がいるが、市の介助員事業の予算では足りない状況だ。
    - ③ 小学校と幼稚園・保育園、小学校と中学校の指導の連続性や連携
    - ④ 大規模地震等災害への備え
  - ・委員 児童クラブでもクールダウンの必要なお子さんや気持ちのコントロールが苦手なおさんがいるので、クールダウンスペースを確保している。八松小学校のリソースルームを見せていただき参考にしたい。
  - ・委員 2年生で畑の手伝いを募集する手紙が学校から配付された。保護者だけでなく祖父母なども協力したいという方もいると思う。募集の際、知り合いでも構わないという一文があるとさらに人が集まるのではないか。
  - ・委員 幼稚園を卒園した子どもたちが、小学校でどのように過ごしているのか、これまで実際に見る機会がなかった。小学校の過ごし方を知ることによって、幼稚園の教育も考えていくことができると思う。
  - ・委員 コミュニティー・ソーシャルワーカーはどのような役割でどのような相談ができるのか説明をし、八松地区の担当者を紹介した。
  - ・会長 学校の困り感や課題について、次回以降も協議を続けていく。

以上

次回開催予定 2024年7月18日(木) 午前10時～

場 所 藤沢市立八松小学校 第2多目的室